

令和4年度第2回子ども・子育て会議 議事要旨

日 時：令和5年3月27日（月）13時30分～15時40分

場 所：村岡区中央公民館 2階 大会議室

出席者：委員8名（7名欠席）、教育長、事務局5名

〈次第〉

開会

教育長あいさつ

委嘱状交付

香美町子ども・子育て会議の概要

会長及び副会長の選出

議題

- (1) 令和3年度実施状況に係る評価について
- (2) 第2期香美町子ども・子育て支援事業計画の中間年に係る見直しについて
- (3) 令和5年度からの子育て支援に関する取組について

意見交換

閉会

〈資料〉

資料1・・・香美町子ども・子育て会議の概要

資料2・・・香美町子ども・子育て会議条例

資料3・・・令和3年度実施状況に係る評価書

資料4・・・第2期香美町子ども・子育て支援事業計画の見直し案

資料5・・・令和5年度からの子育て支援に関する取組

〈議題〉

(1) 令和3年度実施状況に係る評価について（事務局による説明）

■委員意見

- ・ 子育てには親や学校の先生、全員が関わらなくてはならない。子育ての講習や研修に取り組む必要があり、即効性がなくても10年20年先、またその子どもたちの世代の継続した取組がなければよくなるならない。
- ・ 子育てする親は学校行事や地域の行事など、関わらなければならないことが多く強いストレスを抱えており、もともと虐待するような人でなくても虐待してしまう。また、学校で生徒に指導するように同じことを幼い子どもに言っても伝わらず、怒られていると感じることで子どもの自己肯定感が低くなる要因となり、そこで「アタッチメント」を十分していない子は成長が進まない。大人が学ぶことが必要であり、研修やその講師の役割は非常に重要である。
- ・ 事業計画を立てた後はその施設でどう事業を進めるか、この会議では柱だけを決めればよく、具体的な取組としては、子どもやその親の数が減り周りとの関りが希薄になっている現状を踏まえて、子育てに関する研修の場を計画してはどうか。

□教育長

- ・ 近年、子どもの生活様態が変わってきており、外で遊ばせることがすべてではない時代であり、このことを大人が理解し、携帯電話の使い方など保護者とのルール作りが必要である。
- ・ いかに地域や家庭との接続をもって子育てできる場面を作っていくか、また、家庭の教育力、地域の教育力、学校の教育力をどう合わせていくかが課題である。
- ・ 家庭と協力しながら、子どもの自己肯定感、非認知能力を付けていかなければならない。

(2) 第2期香美町子ども・子育て支援事業計画の中間年に係る見直しについて（事務局による説明）

■委員意見

※ 意見なし

(3) 令和5年度からの子育て支援に関する取組について（事務局による説明）

■委員意見

- ・ 伴奏型相談支援の取組に関して、同じ妊婦でも初めて出産される方とそうでない方の不安は違うため、初めての方を意識した取組でないと効果が期待できない。0歳から2歳の子の保護者への支援については、保護者は子どもを家でみることの負担感が強く、核家族では、親は子どもをどう育てればよいのかわからず、そこをケアすることが子育て支援につながる。